

☒ ソフト事業のみ
 ☐ ハード事業を含む

成果指標設定調書

【成果指標の設定】
 成果指標設定年度
 5
 年度

市町村名	春日部市					
提案事業名	武里駅西口エリアマネジメント推進事業					
事業期間	①	4	年度	～	5	年度
	②	5	年度	～	6	年度
事業の必要性、目的	武里駅西口エリアは、商店街の高齢化、人手・後継者不足による空き家、空き店舗の増加などにより活力や賑わいが低下してきている。本事業は、①地域に根付き、主体的にまちづくりに参画するまちの担い手の発掘・育成を行うとともに、②次世代を担うリーダーの育成や実施事業の見直しなどによる新たな商店街の確立を進めていく。そして、新たなまちの担い手など民間主導による地域の既存ストックを活用した事業が拡大することで、まちに新しい価値や魅力を生み出し、多世代から選ばれる持続可能なまちづくりの実現を目指す。					
成 果 指 標	（成果を検証する指標） ①新たなまちの担い手による事業化件数 ②スクラム商店街プロジェクトに参加する商店会の会員数					
	（成果検証の具体的な方法） ①令和4年・5年度の「リノベーションスクール」における受講生の提案事業の実施件数の把握 ②スクラム商店街プロジェクトに参加する2つの商店会の会員の把握					
	（上記の指標を設定した理由） ①本事業は、自身の事業を軸としながら、エリアの賑わい創出や魅力を高める事業を行うまちの担い手を「家守会社」と定義し、そのようなまちの担い手が主体となった持続可能なまちづくりを目指すことから、「リノベーションスクール」の受講生（修了生含む）によって実施された事業の件数を把握することにより、事業効果が図れるものとする。 ②次世代を担うリーダーの育成や実施事業の見直しにより、未来に継続できる商店会として魅力が高まることで、商店会の会員数の維持、増加を目指すことから、当該プロジェクトの会員数を把握することにより、事業効果が図れるものとする。					
	（成果の目標値）					
	現状値 （5年4月現在）		①0件 ②0人	目標値 （6年4月時点）		①3件 ②54人
	（施設建設等の場合）					
	年間利用者数（目標）（人）			稼働率（目標）（％）		
	住民への公表方法及び特記事項		「リノベーションスクール」の実施および受講生（修了生）の実施する事業に関する情報を市公式ホームページに掲載する。			

【成果指標と構成事業の関連性】

令和5年度 構成事業

構成事業名		概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
①	武里駅西口エリアリノベーションまちづくり事業 ソフト	空き店舗や公共空間などの遊休不動産を活用する事業計画を作成し、事業化を目指す「リノベーションスクール」の開催により、まちの担い手の発掘・育成を行う。また、「リノベーションスクール」の受講生（修了生）による複数の事業展開により、エリアの価値を高め、賑わいの創出につながる。	10,859
②	スクラム商店街プロジェクト事業 ソフト	空き店舗の増加や商店主の高齢化、人手不足・後継者不足といった問題に対し、次世代を担うリーダーの育成や実施事業の見直しといった対策を行うことで商店会の魅力が高まる。また、会員数が増加することで、持続可能な商店街の形成につながる。	2,633
③	ハード ソフト 間接補		
④	ハード ソフト 間接補		
⑤	ハード ソフト 間接補		
⑥	ハード ソフト 間接補		
合計			13,492

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための 具体的な方策	①「リノベーションスクール」受講生および修了生に対して、地域住民や関係機関との連絡調整や事業計画のブラッシュアップのための専門家の派遣など、事業化への支援を行う。 ②商業者グループの取組みを商店街の活性化や街おこしに精通する外部専門家の助言・指導を受けながら各事業を確立していく伴走型の支援を行う。
成果指標の達成見込み	上記の方策を着実に実行することで、目標達成を目指す。

（記入上の注意）

【成果指標の設定】

・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

・提案事業を構成する各事業（構成事業）について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業（ハード事業）。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業（ソフト事業）。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業
に対して市町村が補助金を交付するもの（間接補助事業）。

・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、
事業費の下に（ ）書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。